

島根大学国際交流センター

事業名	島根の田舎と世界の縁結びプロジェクト2014 —留学生と広げる中山間地域国際交流の輪in邑南町—						
実施期間	2014年9月6日～9日						
場 所	島根県邑智郡邑南町						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	19	138	3	10	3	50	223 名

＜実施内容＞

留学生の日本文化理解の更なる深化を図るため、島根大学と包括協定を結んでいる邑南町の協力のもと、国際交流センター主催の第5回目の邑南町見学旅行を9月6日(土)から9月9日(火)にかけて実施しました。

今回は、19名の留学生(9カ国出身)と支援の島根大学生3名、が邑南町を訪ねました。今回は、「島根の田舎と世界の縁結びプロジェクト2014」と銘打ち、毎年恒例の農家民泊での田舎生活体験に加え、新規の邑南国際交流まつり、そして町内の県立矢上高校、高原小学校での国際交流ワークショップを中心事業とし、実施しました。

矢上高校では、高校生20名とともに、留学生の母国料理を作ったり、高校生から手打ちうどんや天ぷらの作り方を教わったほか、高校生対留学生で英語によるディベート大会を実施。同夜には出羽(いずわ)神楽団の迫力あふれる石見神楽「八岐大蛇」を堪能し、衣装体験、団員との交流を行いました。翌日には今年初の取り組みとして一般町民も参加しての国際交流まつりを開催しました。第1部では奥野勝利さんミニライブ、ふるさとの味研究会による地元伝統押し寿司作り、第2部では留学生によるプレゼンとファッションショー、やまんば太鼓の実演体験など、留学生と地域の方が楽しく有意義に交流することができました。同夜からは2泊3日の農家民泊で日本の生活文化やを体感しました。最終日には高原小学校を訪れ、異文化交流会と給食会を実施しました。

留学生たちが、日本文化の新しい一面や温かい人情など今回の研修で経験したことを、今後の勉強や研究生活に大いに役立ててくれることを期待しています。



邑南町立高原小学校での交流



矢上高生徒VS島大留学生、白熱の英語ディベート



矢上高校生徒たちと記念写真



石見神楽観賞の後、貴重な衣装の試着体験



邑南国際交流まつり、留学生の太鼓演奏に合わせ地元住民が炭鉞節を踊る



農家民泊のお父さんお母さんと家族のような時間



農家民泊でぶどう狩り体験



高原小学校児童と、世界のジャンケンで交流



高原小学校児童と給食会、牛乳で乾杯！

<参加者からのコメント>

鄭 海霞さん(中国)/Zheng Haixia

この夏、邑南見学旅行に参加させていただき、ありがとうございました。とても楽しかったです。3泊4日はあっという間に過ぎましたが、たくさんいい思い出を作りました。矢上高校でのうどん作りや神楽の見学と最後のかわいい小学生との遊び、すべての活動から日本の伝統や風土を体験しながら、たくさん元気をもらいました。大満足でした。その中で、個人的に特に印象に残っているのは、やはり民泊でした。

民泊の日高お父さんとお母さんが私のために、昔中国に旅行しに行ったとき御坊さんから書いてもらった掛け軸を飾ってくれました。その掛け軸に書いてあるのは、一期一会という日本茶道用語でした。日高お母さんによると、「一期」は一生、「一会」は一度だけの体験の意味です。今振り返って考えてみると、ベトナムから来たファムさんと中国から来た私が一緒に日本の山の奥にある農家で民泊をし、そして一緒に仲秋の名月の観覧するなんて、本当に想像にもしなかったご縁ですね。

日高お母さんから本番の日本茶席を教えてください、一緒に仲秋の晩餐のために、団子や巻きずしを作ることから日本のおもてなしを味わいました。日高お父さんが、子供の頃この家で広島キノコ雲を見たときの記憶を語りながら、今でも世界のどこかで戦争が起こっていることに心の痛みを感じられました。4人一緒に世の中の平和を祈るために乾杯しました。人生すべての体験がただ一回しかない、一期一会です。お互いにこの大切さを知ることによって、平和を促すことができるのだらうと思いました。

ジョセフ フルタラウ(ソロモン諸島)/Josef Hurutarau

邑南国際交流まつりで、私はソロモン諸島の南国ラヴァラヴァを着てプレゼンテーションをしました。民族衣装を着た他の仲間もみんなきれいでした。私は楽しく自分の国について紹介できました。ファッションショーの後、交流ゲームでみんなは私にソロモン諸島ビジン語で「ハロ」と言ってくれました。小さい子や年配の方との会話を楽しみました。お互いいい時間を過ごしました。その後私たちは太鼓を叩き、フラダンスをしました。とても盛り上がりました。まつりの後、農家へ行きました。私と朱文傑さんは、ペンション二郎さんの家に泊まることができて本当に幸せでした。とても温かく迎えてもらいました。料理を手伝ったり、民泊の両親とたくさんのお話を分かち合いました。また、邑南町を見せて廻ってくれ、私たちがとても楽しみました。短期間でしたが絆を築くことができました。お別れの時は家族と抱き合い、さよならを言いました。

最終日、高原小学校の生徒と交流しました。小学生は行進してやって来て私たちを迎えてくれました。ここでも自分の国について最後の紹介をする場があり、私はソロモン諸島について話をしました。小学生たちは「ソロモン諸島は小さいね」とささやいていましたが、楽しそうに私の国について聞いている様子でした。

教室の中や外でゲームをして楽しみました。私は小学生たちにソロモン諸島のポリネシアンダンスを教えました。彼らはそれを楽しみました。一緒に給食を食べ、また一緒に時間を過ごしました。島根大学へ帰るバスに乗り込むとき、小学生たちは一列に並んでさようならと言ってくれました。邑南町見学旅行の最後として、とても思い出深い出来事でした。本当に「邑南町の住民と島根大学留学生の縁結び」でした！